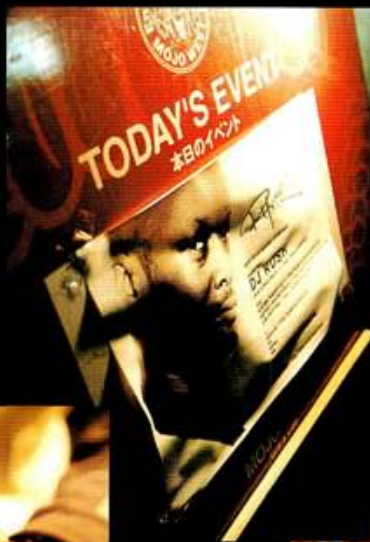




# 変態サウンドは 復活の狼煙に なりうるか!? 今宵、巨神は 北山に何を残す?

先入観とは恐ろしい。DJ RUSHは「変態だ」なんて聞いていたからだ。いや、もちろん音楽の話。ニュースクールミュージックの期待を一新に背負ったハウスに、ぶっ飛んだアレルギー体質とも言える変態サウンド=アシッドを世界中にまき散らす。名前からしてRUSH、ラッシュ!? 猪突猛進!! で、今宵、DJ RUSHが、平穩無事な北山の夜にやって来る。こりゃヤバイわな…。

MOJO WESTの控え室。足元ではヒップホップの重低音がどどここ鳴り響く中、「今流れている音楽と俺の音楽が違うことに、一抹の不安を覚えるよ」と彼はちょっぴり不機嫌気味。ひ〜。2mを超える巨体。デカイ。取材隊はそろって胸の辺りまでの圧倒的な身長差…。ところがである。聞くとところによると、金曜日は東京で数百人を踊らせた翌日の今日、大阪から北山へ一直線。舞妓をはべらすことなく、Sushiに舌鼓を打つわけでもなく、出番まではMOJO WEST近くのカフェで豆料理を食べていたという。寒がりらしく、話を聞いている間もマフラーを手放さなかった。意外にマメなお人!? カワイイんだ。が、スモークが立ち込める中、DJブースにシルエットが現れた時、それはほんの一面であったことを思い知らされたのである。巨神降臨。圧倒的な存在感がそこにはあった。北山が常に求め続ける求心力が、その刹那、確かにあったのだ。「毎日の生活、1日、1時間、1秒、その瞬間、刹那のために、俺はハウスをやっているのさ」。響き渡る刹那のRUSHサウンドは、北山に何の狼煙を上げさせたのか。RHYTHMオーガナイザー中井氏曰く、「ここから北山の夜は変わる」。その予兆を京都はもちろん、大阪からも駆けつけた人々が「ホンモノ」に変えてくれるのだろう。「へえ〜、北山、ええやん」の合言葉。夜のリアル北山は、今宵、動き始めた。



## Watching Carefully

取材・文/トライアウト 撮影/堀中勝如

## RHYTHM@MOJO WEST

<http://www.mojo-west.com>





**A.** 黒人、身長は2m以上。マジ、最初はビビったが、話すとめっちゃめっちゃいい人。「東京はニューヨーク、京都はシカゴに似ている」とのこと。ハウスが根付く土壌があるということか？ **B.** RHYTHMでは2月に続き、今宵も大物外人DJをブックイング。「今後も続けていきますよ」と語るオーガナイザー中井氏（問い合わせ「MOJO WEST」075・706・8869） **C.** ミドリさん（左）、チサさん（右）に囲まれて、ハーレム状態のソラさん（中）。「今日はセレブパーティやんね!？」と少々誤解気味 **D.** MOJO WESTオーブニングスタッフでもあるアイコさん。今宵のオフはDJ RUSHを純粋に楽しむ、「パフォーマンスに期待大!」 **E.** お二人ともメガネにこだわりあり、のI（右）&G（左）。今宵は仕事の事を忘れて、「RUSHサウンドに酔ってまーす!!」 **F.** RUSHサウンドにもうメロメロ。外で頭を冷やさないよ、ということで連れてきたコウヘイさん。ヤバイね、キミ **G.** 社長さん（左）&副社長さん（右）、真実は社員&社長さん。「大阪中崎のレコード屋、S+FOR+SWEETヨロシク!!」 **H.** 「RUSH濃げ〜よ〜、スモークの中からの登場シーン、感動した〜」のは頭イケてるハングラさん。この後、猛然と踊り狂ってました **I.** 京都の町家に住む外国人、DJ Luke Le Mansも今宵のイベントにオーディエンスとして参加。「俺、TVのビフォーアフター出タヨ」ってRUSH関係ねーじゃん